

【大項目毎の進捗状況、進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題】

東栄信用金庫

大項目	進捗状況及び進捗状況に対する分析・評価	今後の課題
事業再生・中小企業金融の円滑化	<p>・産学との連携強化のため、地元で唯一の大学である東京聖栄大学と地域活性化に向けた業務連携についての打合せを実施しました。</p> <p>・事業再生ファンドへの参画については「東京チャレンジファンド投資事業有限責任組合」に出資を実施。</p> <p>・担保・保証に過度に依存しない融資推進のため、新型ローン「商店街活性化ローン」を下期から発売。</p> <p>・経営相談・支援機能強化の一環として取組んでいる中小企業診断士との業務連携による企業再生支援を引き続き実施しました。</p>	<p>・産学連携については今後定期的な打ち合わせを重ね、地域住民、事業者に対する地域貢献、活性化等の事業を模索し、具現化して行きます。</p> <p>・当金庫単体での再生ファンド対象先はないが、出資等の機会があれば積極的前向きに検討して行きます。</p> <p>・「商店街活性化ローン」の発売を機に「東栄ビジネスローン」と併せて事業者向け無担保商品を推進し「地元商店街の活性化」を図って行きます。</p> <p>・中小企業診断士との業務連携による企業再生支援を引き続き実施し、対象企業の再生支援を図ると共に、職員のスキルアップを図りながら内部・外部研修にも積極的に派遣し相乗効果による人材育成を図って行きます。</p>
経営力の強化	<p>・中小企業信用リスクデータベースを活用し、債務者の財務内容分析による問題点抽出・キャッシュフロー計算・修正財務中心に利用を実施しました。</p> <p>・お客様のニーズに対応すべく事業者向け無担保ローン新商品を発売し、庫内においてはコンプライアンス上の問題についても監査部が定期的にチェックしながら地域のお客様の信頼に応えるよう努力しています。</p>	<p>・信用格付けスキームの構築に向けて引き続き検討を図って行きます。</p> <p>・各種行事等を通じて顧客からの意見を集約して金庫経営に反映させて行きます。</p> <p>・コンプライアンス態勢強化のため、監査部による項目の強化および融資部による臨店指導の実施を図って行きます。</p> <p>・金庫内ネットワーク等の一層の整備を図って行きます。</p>
地域の利用者の利便性向上	<p>・「ご要望・ご意見投入箱」への意見等のほか、各種行事開催時にアンケートを実施し、意見・要望事項等について金庫内で情報の共有化を図りました。</p> <p>・浦安商工会議所と提携し、会員向けに「メンバーズ・ビジネス・ローン」の取扱いを開始しました。</p> <p>・地公体との情報交換のため、東京都立産業技術研究所より担当者を招き、同組織の概要等について説明を受けました。</p> <p>・業界団体(信金中金・東信協)と金庫取引先の交流を深めるため、金庫行事に参加頂いた。</p>	<p>・各種行事等を通じて顧客からの意見を集約して金庫経営に反映させて行きます。</p> <p>・顧客ニーズの把握と情報の共有化を図り有益な情報を提供できる態勢構築を図って行きます。</p> <p>・地公体との協調、連帯を模索し、顧客に対して積極的に情報提供を図って行きます。</p> <p>・外部団体等との連携を強化し、取引先への積極的な情報提供を図って行きます。</p> <p>・新たなビジネスモデル構築に向け、業界団体との一層の連携強化を図って行きます。</p>

(注) 本紙1枚に簡潔にまとめて記載すること。